「積小為大」 やればできる

平戸市立中部中学校
令和8年11月4日 【学校だより】
文責　木寺　剛

文化祭 「共創」～仲間と創る最高の瞬間～

文化祭のオープニングでは、生徒会本部役委員が学校のリーダーは3年生ですが、2年生や新興勢力がその座を狙っているという場面を演出し文化祭の幕開けをしました。





プログラムNo.１。３年生と2組によるダンス。ダンス委員を中心に夏休みから振り付けを考え、見事息の合ったダンスを披露しました。「全国リズムダンスふれあいコンクール」入賞を目指し更にレベルアップをします。

プログラムNo.2。１年生の劇「消えた八月」。原爆で5人の子どもを失った年老いた夫婦の物語と今自分たちにできることは何かを演じることで、平和についての学びを深めることができました。







プログラムNo.3。英語スピーチ。発表者は１年●●●●●さん、２年●●●●さん。●●●●さんは、平戸市イングリッシュ・スピーチコンテストに出場しました。●●●●●さんは、聖和杯中学生英語暗誦大会に出場します。

プログラムNo.4。２年生による劇『「働く」って何だろう～私たちの職場体験記～』職場体験で学んだ貴重な体験を通して、なんのために働くのかを表現しました。















プログラムNo.５。３年生による劇『進路のススメ』。今自分が直面している中学３年生の進路に悩む姿を劇を通して表現しました。









文化祭を終えて、すべての子どもたちの成長を感じ取ることができ大変嬉しく思っています。本番の舞台で発表をする姿はもちろんですが、当日までの練習や準備も全員で協力してできたことが何より素晴らしかったと思っています。練習では、仲間と意見を出し合い、時には悩みながらお互いに協力し当日を迎えたことと思います。それこそが、テーマである「共創」を達成できた証です。１年生は、平和について真剣に考え、２年生は職場体験で学んだことを自分の言葉で伝え表現しました。３年生は進路についての不安や希望を表現することができました。また、英語スピーチでは、長文を暗記し発音も滑らかに発表することができました。さらに、合唱ではそれぞれの学年ともに、一人一人の声が重なり合い美しいハーモニーをつくりあげることができました。ご家族、ご来賓、地域の皆様には、子どもたちの成長を温かく見守り、心温まる拍手を送っていただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、今回の文化祭を通して、互いに協力することや最後までやり遂げることの大切さを学んだことと思います。今後も、中部中学校の教育活動に対しご理解ご協力をよろしくお願いいたします。最後に、練習から本番当日までご協力をいただきました中部公民館のスタッフの皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

体育館の屋根・外壁工事が終了しました









平成８年（１９９６年）に完成した現在の体育館ですが、およそ３０年が経過し雨漏りや外壁にひびが入り改修工事をすることとなり、先日、無事に工事が終了しました。工事期間中は、体育館や駐車場の利用にご迷惑をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。